

**令和元年度 国立吉備青少年自然の家教育事業  
体験活動推進員養成研修**

**1. 事業の目的（趣旨・ねらい）**

体験活動の重要性について理解を深めるとともに、地域の青少年への普及を推進する「体験活動推進員」を養成する。

**2. 事業の概要**

**(1) 期日**

令和元年7月7日（日）

**(2) 参加者**

① 募集対象・人数

学校地域支援本部・放課後子どもプラン・家庭教育支援・土曜日の教育支援活動等の関係者（コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーター、放課後児童指導員、行政職員など）・本研修に関心のある方 30人

② 参加人数

26人

**(3) 会場**

赤磐市赤坂健康管理センター

**(4) 講師等**

研修①「青少年の現状と課題について」

講師：高藤 佳明（国立吉備青少年自然の家 所長）

研修②「体験活動の安全について」

講師：乗本 雅彦（国立吉備青少年自然の家 企画指導専門職）

研修③「青少年の体験活動について」

講師：西山 一之進（国立吉備青少年自然の家 企画指導専門職）

**(5) 企画・運営のポイント**

- ① 県全体を対象としているが、県内を4つのグループに分け、今年度は県南部の赤磐市を中心に、ニーズを取り入れた内容にした。
- ② 研修の実施にあたり、赤磐市教育委員会社会教育課との連携を図り、参加者の募集や会場の提供などで協力をいただいた。

**3. 活動の内容等**

**(1) 日程**

7月7日（日）	
9:15	開会式
9:20	研修①「青少年の現状と課題について」
10:20	研修②「体験活動の安全について」
11:30	研修③「青少年の体験活動について」
12:30	閉会式
13:30	【希望者を対象】「仲間づくりの遊びやゲームについて」
15:00	終了

## (2) 活動状況



【研修②体験活動の安全について】



【研修③青少年の体験活動について】



【推進員登録者へ委嘱状の授与】



【仲間づくりの遊びやゲームについて】

## 4. 成果・課題

### (1) 満足度

満足：80% やや満足：20%

### (2) 参加者の声

- ① 子供の問題ではなく、一番身近な親がいろいろな行事に積極的に参加することやスマートフォンに子守りをさせないことなど親の意識づけが大切だと感じた。
- ② 子供の偏りがちな体験を「ヒト」として成長させていくのに、学外での活動が必要だと思いました。社会全体がもっと動けば素晴らしいと思います。
- ③ 世代を越えた意見の交流を行うことができ良かったと思いました。同世代だけでは気づくことができなかったことや意見を聞くことができました。

### (3) 成果

参加者は、日頃子供たちとかかわっている活動内容や活動場所の安全について、研修を通し振り返って考えることができ、体験活動の重要性と子供にかかわる大人の意識の持ち方など、これからの指導に生かせる内容となった。

### (4) 今後の課題

昨年度より参加者は増え、「体験活動推進員」の登録も増えた。参加者募集に赤磐市教育委員会社会教育課に協力をいただき、今年度は日曜日の開催となったが、多くの参加をいただいた。地区での参加者がほとんどで、他地区からの参加は少なかったが、学生から70代まで幅広い年代の方々にご参加をいただいた。今後も地区での募集と並行して県内での広報を積極的に行っていきたい。そして、体験活動推進員の重要性や大切さを伝えていきたい。

担当：企画指導専門職 乗本 雅彦